

# 平成21年7月中国・九州北部豪雨により生産された土砂量を算出しました

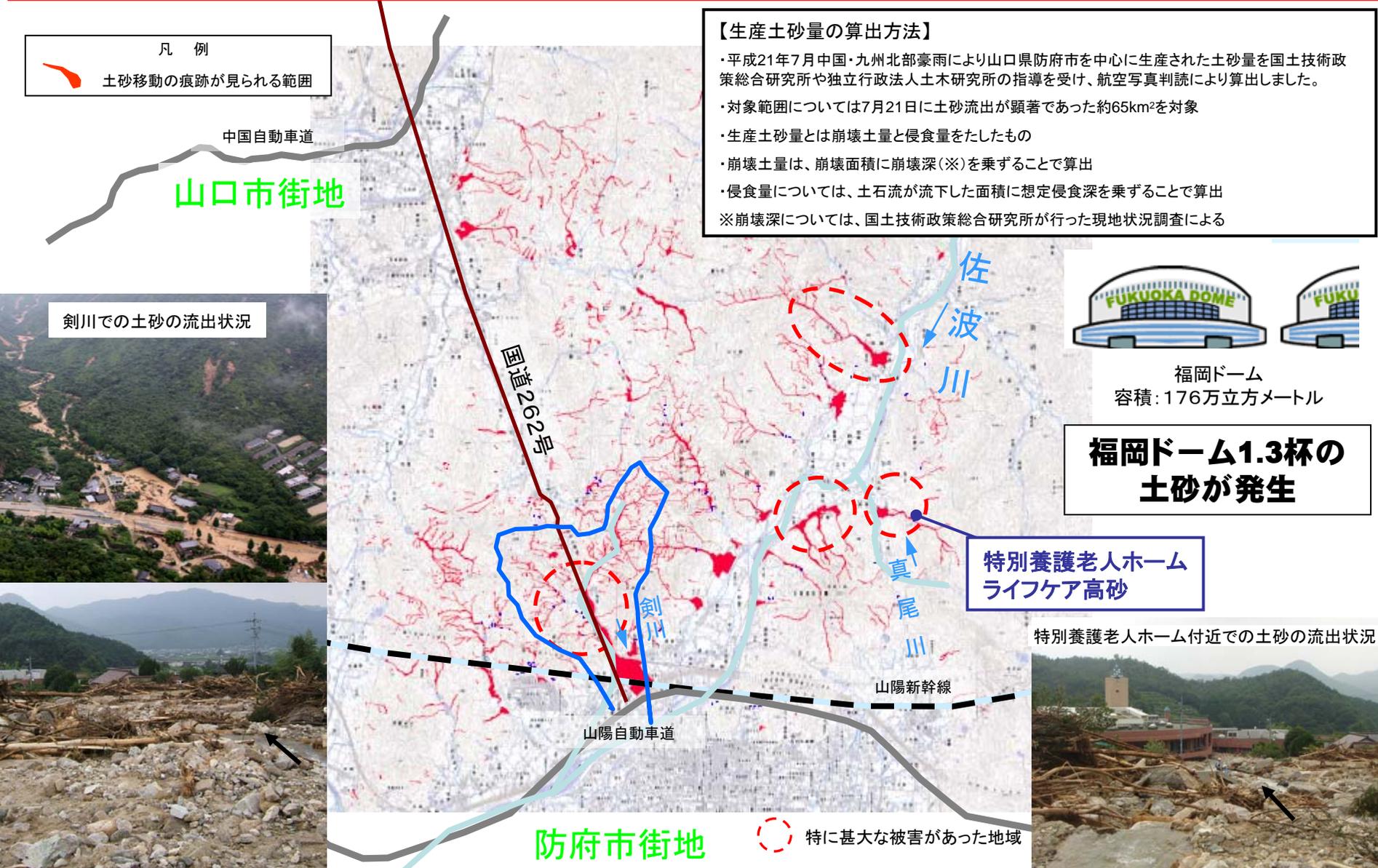
平成21年7月中国・九州北部豪雨により山口県防府市を中心に生産された土砂量は約235万m<sup>3</sup>。福岡ドーム約1.3杯分にも相当することが判明。  
※数値は速報値であり、今後修正する可能性があります。

凡例  
土砂移動の痕跡が見られる範囲

【生産土砂量の算出方法】

- ・平成21年7月中国・九州北部豪雨により山口県防府市を中心に生産された土砂量を国土技術政策総合研究所や独立行政法人土木研究所の指導を受け、航空写真判読により算出しました。
- ・対象範囲については7月21日に土砂流出が顕著であった約65km<sup>2</sup>を対象
- ・生産土砂量とは崩壊土量と侵食量をたしたもの
- ・崩壊土量は、崩壊面積に崩壊深(※)を乗ずることで算出
- ・侵食量については、土石流が流下した面積に想定侵食深を乗ずることで算出

※崩壊深については、国土技術政策総合研究所が行った現地状況調査による



剣川での土砂の流出状況



福岡ドーム  
容積: 176万立方メートル

**福岡ドーム1.3杯の土砂が発生**

特別養護老人ホーム  
ライフケア高砂

特別養護老人ホーム付近での土砂の流出状況



防府市街地  
特に甚大な被害があった地域